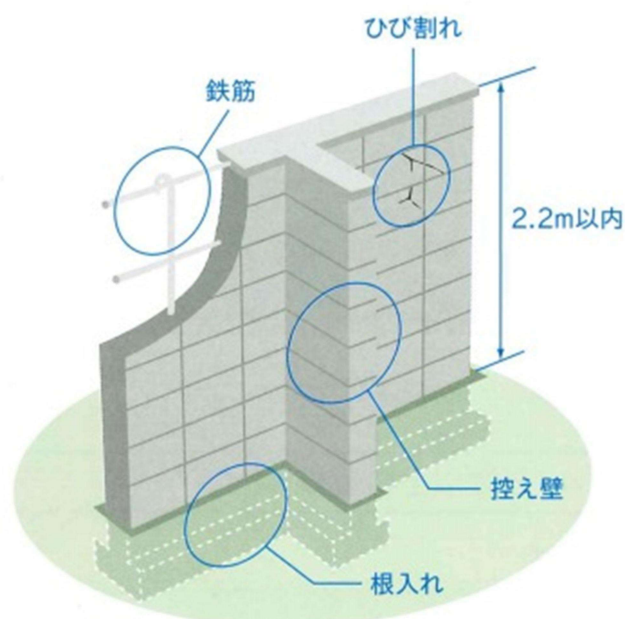


べい あんしんなブロック塀のために

ブロック塀の仕様は、建築基準法で定められており、基準を満足するブロック塀は、大きな地震にも耐えることができます。

しかし、古いブロック塀は、基準を満足していない場合があります。

また、厳しい自然環境のもとで、年数とともに老朽化し、ブロックのひび割れや欠け、鉄筋のさび、塀の傾きなどが発生します。



出典：国土交通省・建築物防災推進協議会「建物もあなたと同じ健康診断」

放置

地震時に倒壊



熊本地震時の
ブロック塀の倒壊

- ・通行人が死亡、怪我
- ・災害救助活動の妨げ

維持管理は 所有者の責任

日頃から点検し、異常や基準を満たしていないことがわかったときには、付近通行者等へ注意表示と、転倒防止対策や改善を早急に行いましょう。

- ① 取り急ぎ、ご自分で点検
(裏面チェックポイント使用)
- ② 不安なら、専門家(建築士等)へ相談



【造り替え例】

- ・道から後退
- ・道沿いに植込
- ・折れ壁(転倒抑制)
- ・フェンス併用



※狭い道路(幅員4m未満)沿いには、塀を設置できない場合があります。

■ 基準等問い合わせ先 ■

三重県 伊賀建設事務所	建築開発室	電話 0595-24-8239
伊賀市 建設部	建築課	電話 0595-22-9732

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。
まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

□ 1. 塀は高すぎないか
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。

□ 2. 塀の厚さは十分か
・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）

□ 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

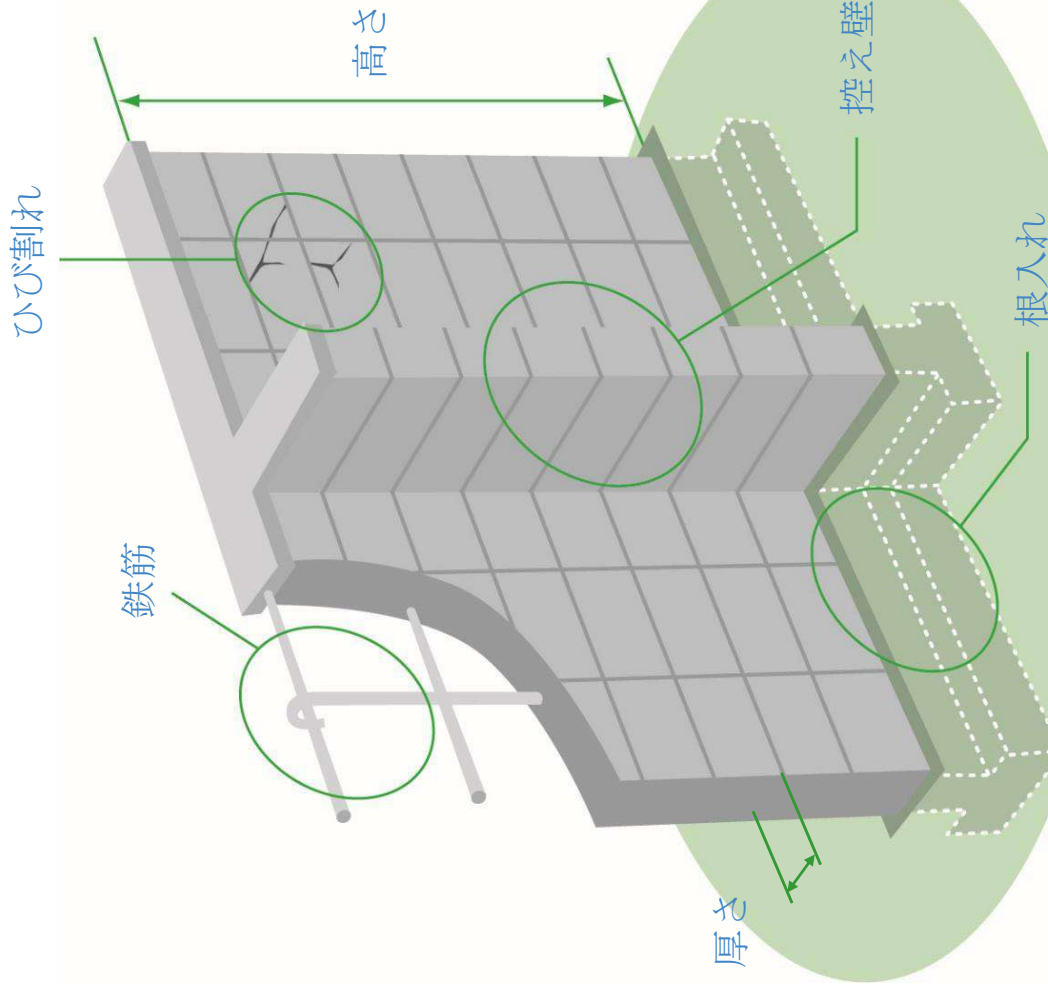
□ 4. 基礎があるか
・コンクリートの基礎があるか。

□ 5. 塀は健全か
・塀に傾き、ひび割れはないか。

＜専門家に相談しましょう＞

□ 6. 塀に鉄筋が入っているか

- ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
- ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）



組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

＜専門家に相談しましょう＞

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。